

挑む!

訪日客専用のペンチャー社長

須田 健太郎さん(32)

「世界に足跡を」 31万人ナビ



マレーシアで生まれ、10歳のときに日本へ。流通科学大を中退し、2007年に「フリープラス」を起業。当初は人材派遣業だった。

訪日外国人向け観光ツアーの企画や運営を手がけるペンチャー企業「フリープラス」(大阪市)を率いる。旅行の仲介だけでなく、4月にはJR新今宮駅(同)そばに、念願の訪日客専用ホテル(100室)を開業。5年かけ

て計10棟をつくる計画で、旅行者のあらゆる場面をサポートしたいという。きっかけは20歳の時。成人式を終え、人生は一度きりだと実感した。「せめて世界に足跡を残したい」と思い立って大学を中退。人材派遣会社で

1年働いて資金をためた後、仲間と2人で起業した。ターゲットを訪日客にしたのは2010年のことだ。父の仕事で東南アジアに住んだ経験から、外国人相手の商売にも抵抗がなかった。まずは中国の旅行会社へ営業をかけ、門前払いされながらも半年かけて2人の客を仲介した。翌年の東日本大震災で旅行者は激減。営業を控える同業者が目立つなか、あえて顧客の開拓に飛び回った。「中途半端に投げ出せない。コネや経験がなくても信念さえあれば共鳴してくれる人は必ずいる」

これまでに29カ国の31万人を日本各地に案内した。社員は海外を含め約150人を抱えるまでになった。過去最多を更新する訪日客は、いまや地域経済の牽引役。さらに呼び込むことで、「日本の元気の原動力になりたい」。

文・中島嘉克 写真・堀内義晃

記者から

会社には傘立ての傘の向きまでルールがある。徹底したこだわり、成長のヒントを見ました。